

降雪に対する農作物の管理について

令和8年2月6日

農業技術課

甲府地方気象台によりますと、7日から8日にかけて、強い寒気が流れ込む影響で、本県では、7日昼前から8日にかけて雪や雨が降り、東部・富士五湖や中西部の山地を中心に、積雪となる所があると予報されております。

今のところ本県では注意報等の発表はありませんが、今後の気象情報に注意し、降雪に備えてせん定作業や樹・棚の補強など事前の対策を行ってください。

山梨県の早期注意情報（警報級の可能性）						
2026年02月06日11時 甲府地方気象台 発表						
中・西部では、7日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。 東部・富士五湖では、7日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。						
山梨県中・西部		6日		7日		
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24
大雪 (センチ)	警報級の可能性	-	-	-	-	-
	6時間最大	0	0	0	1	2
	24時間最大				1から5	
山梨県東部・富士五湖		6日		7日		
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24
大雪 (センチ)	警報級の可能性	-	-	-	-	-
	6時間最大	0	0	0	1	3
	24時間最大				1から5	

(2月6日11時 甲府地方気象台 発表)

<降雪対策>

○果樹

- ・防鳥網が設置してある園では、防鳥網を除去する。
- ・ブドウ、キウイフルーツ、棚栽培のスマモなどで、せん定作業が遅れている園では、支柱等で補強するとともに、粗切り剪定を行い棚への着雪を少なくする。若木及び登熟不良樹では、仕上げの剪定は厳寒期を過ぎてから行う。
- ・立木類では、積雪による枝折れを防ぐため支柱などで補強する。
- ・雪が積もった場合は、棚等の荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除雪する。
- ・加温前のハウスでは、谷や巻き上げたビニールなどへの積雪に注意し、積雪が増える場合には荷重バランスに注意しながら、速やかに除雪する。
- ・加温中のハウスでは、降雪直後から二重カーテンを開放し加温を始め、融雪に努める。
- ・ハウスでは、降雪中加温が出来るだけの燃料を確保しておく。

○野菜・花き

- ・加温ハウスでは降雪直後から二重カーテンを開放し加温を始め、融雪に努める。
- ・無加温ハウスでは、簡易ストーブで加温し、融雪させる。また、補助支柱等を設置して補強する。
- ・トンネル栽培では換気に注意し、トンネル内が加湿状態にならないように管理する。
- ・トンネルに積もった雪は早めに除雪し、押しつぶされる等の被害を防ぐ。
- ・トンネル栽培の準備を行うほ場では、堆肥の散布による融雪対策等を行い、準備が遅れないようにする。
- ・未使用ハウスではビニールを巻き上げるか、除去し、積雪による倒壊を避ける。

○畜産

- ・積雪による畜舎や家畜の事故防止を図るため、安全には十分に配慮した上で、早めの雪下ろし及び畜舎周辺の除雪に努める。
- ・積雪に伴う物流の遅延などに備え、予め飼料、燃料、飲水などを十分確保する。
- ・積雪による防護柵の破損や、野生イノシシの柵の乗越えに注意する。

なお、農業技術課HPに対策資料を掲載していますので参考として下さい。

気象災害防止及び対策HPアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/kisyousaigai.html>